

# カーボンニュートラル実現に向けたシンポジウム in 広島

「2050年カーボンニュートラル宣言」以降、日本を含め世界各国では脱炭素化に向け急速に動き始めました。このような環境下において、中小企業などもカーボンニュートラルへの取り組みを求められています。

中国経済産業局では、2月の省エネルギー月間事業として、工場・事業場、自治体等のエネルギー管理統括者、エネルギー管理の担当者などを対象に、中小企業等のカーボンニュートラルの取組を加速させることを目的として、本シンポジウムを開催します。ぜひご参加ください！

参加無料  
(事前申込制)

※会場およびオンラインでのハイブリッドにて開催  
現地会場 / 定員100名  
オンライン / 定員500名  
(Webex)

日時 | 2026年2月18日(水)

時間 | 13:30～16:00 ※受付13:00～

会場 | ホテルメルパルク広島 6F 瑞雲  
(広島県広島市中区基町6-36)

参加ご希望の方は、  
右の二次元コードを  
読み取り、申込フォーム  
からお申し込みください。



申込み切:2月10日(火)まで



【田辺 新一 氏 プロフィール】

建築環境学が専門。快適性・健康性とエネルギーの関係に興味を持つ。福岡県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学大学院修了、工学博士。デンマーク工科大学研究員。カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員。お茶の水女子大学助教授。早稲田大学理工学部建築学科助教授を経て2001年から同大学教授。日本学術会議会員(2017-2023)、第57代日本建築学会会長(2021-2023)、国土交通省社会資本整備審議会委員、経済産業省日本産業標準調査会標準第一部会長など。2025年秋の褒章において、紫綬褒章を受章。

## 13:35～ 基調講演

早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授  
スマート社会技術融合研究機構(ACROSS) 機構長

田辺 新一 氏

『カーボンニュートラル実現に向けて、求められる企業の取組とは』

## 14:25～ 施策説明

中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長補佐 大谷 宗宏

『GX実現に向けた最新の省エネ政策の動向』

## 15:10～ 事例紹介

1. マツダ株式会社 技術本部 パワートレイン技術部  
PT素材技術グループ アシスタントマネージャー 福田 祐也 氏

『鋳造用砂型軽量化による砂焙焼炉省エネ活動』

2. 令和7年度 省エネルギー月間 中国地区受賞事業者

※プログラムは変更になる場合があります。

※お申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本事業における参加者名簿の作成・WEB視聴URL等の配信・事務局からの各種連絡等に使用する他、講演者へ提供する場合があります。また、講演者からの商品・サービスに関する電話・訪問・メール等によるご案内のため必要な範囲内で利用いたします。(注)「webex」は、Ciscoが提供するオンラインミーティングサービスです。

《問い合わせ先》 カーボンニュートラル実現に向けたシンポジウム運営事務局 (事業受託者:株式会社アシスト)

広島市中区大手町3-13-18 松村ビル2F 担当:伊達、永吉、淀川

TEL : 082-299-0900(平日10:00～17:00) Mail : r7-sympo@assistinc.co.jp